

“平尾台・広谷湿原”

ラムサール条約登録を目指しています



写真：石の罫 本田 茂

“平尾台・広谷湿原”ラムサール条約登録実行委員会

国の重要湿地に
登録されました !!

 東筑紫学園高等学校 理科部

〒803-0841 北九州市 小倉北区 清水 4-10-1
TEL093-571-0488 Fax093-571-0487 Mail: hirotani.ramsar@gmail.com

会長：原 口 昭 (北九州市立大学国際環境工学部 教授)

事務局：佐々木 公裕 (環境カウンセラー)

Mail: touch706@jasmine.ocn.ne.jp

後援： 北九州商工会議所
(後援順) **DUSKIN**

 苅田町観光協会
健康な体ときれいな水を守る。
シャボン玉おけ

 STARFLYER

この印刷物は、北九州市自然環境保全活動支援事業の補助金を活用しております。

国家間条約である、ラムサール条約は水鳥を保全する条約でしたが、1996年より“生物多様性”を守る条約になっています。日本では「秋吉台」が地下水系を評価され、登録されています。

平尾台などの台地の遺産を、保護・保全しながら、教育活動や地域の活性化・地域復興に役立てる北九州ジオパーク構想と連帯しています。

平尾台 広谷湿原 ラムサール

検索



○趣旨

・ 平尾台とは

北九州国定公園そして国指定の天然記念物「平尾台」は秋吉台と並び温帯カルストの代表的標識地です。CO₂を含んだ雨によって溶食されてできた**ドリーネ**などの凹んだ地形、そして風化によって丸くなった結晶質石灰岩の**ピナクル**が羊の群れのように見られます。凹んだ地形に水が流れ込むことによってカルスト特有の地下地形-**鍾乳洞**を形成し、**国の天然記念物の千仏洞、青龍窟**を含む200近い洞窟があります。



平尾台の羊群原

・ 広谷湿原とは

平尾台の東北端には、**広谷湿原**が存在しています。昔、鬼の唐手岩がダムのように繋がっていた頃に、古広谷湿原が形成されたのでしょうか。鬼の唐手岩崩壊後には、古広谷湿原を流れていた広谷本流が、広谷の穴という洞窟に流れ込むようになり、花崗岩帯にカルスト特有の洞窟が絡んだ河川争奪などの様々な成因によって、**広谷湿原**は形成されました。この貴重な成因が評価され、2016年3月に**国の重要湿地**に登録されました!!



ドリーネ

○ラムサール条約登録条件

・ 法律的諸問題

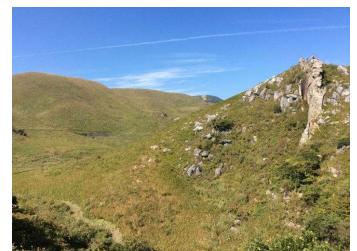
平尾台は**国の天然記念物**なので、現在4つの法律で保護されています。ラムサール条約登録によって、これ以上の規制はかからないと考えられます。

・ 資質

資質とは、保護する価値のある動植物が生息するか、ということです。**平尾台・広谷湿原**には、ノハナショウブやハッコウトクボなどの絶滅危惧種が多く生息しています。

・ 地元の賛同

ラムサール条約登録には、**地元が一番のカギです!**
みなさんの力が必要です!! 御協力よろしく申し上げます!!!



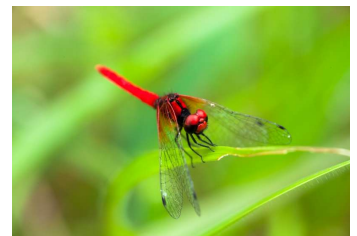
広谷湿原(左)と鬼の唐手岩(右)



広谷湿原のノハナショウブ

○ラムサール条約登録の意義

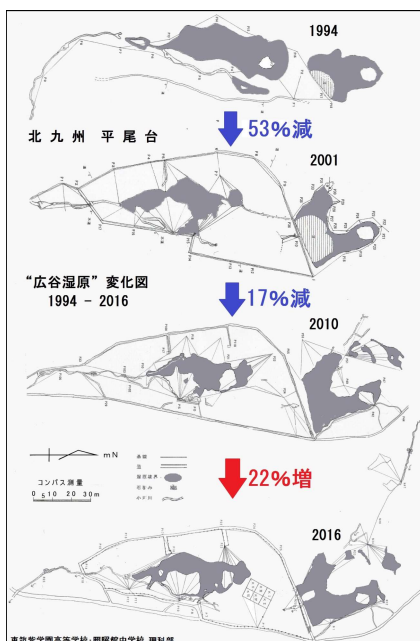
広谷湿原は、1994年から2010年の間で**60%以上減少**しました。「平尾台・広谷湿原」をラムサール条約に登録することで、より多くの人に知ってもらえます。経済的な貢献もあるでしょう。行政の保全事業が動き出すことも期待されます。



ハッコウトクボ

○ラムサール条約登録に向けて

- ・ **みなさんの賛同**。署名用紙、または当委員会のホームページから、会員登録を是非お願いします。
- ・ **本活動の後援、協賛、協力をお願いします**。ポスターの掲示など、お願いします
- ・ **北九州市、苅田町にラムサール条約登録の、申請活動の推進をお願いします**。



広谷湿原の面積測量図

“平尾台・広谷湿原”ラムサール条約登録実行委員会

会長：原 口 昭 (はらぐち あきら)

2017. 6. 5.

北九州市立大学国際環境工学部 教授

専門：生態学、とくに湿原や河川の生物群集と化学的環境との相互関係の解析
主な著書：「日本の湿原」(2013年、生物研究社、著者) ほか多数

副会長：藤 井 厚 志 (ふじい あつし)

北九州市立いのちのたび博物館 名誉学芸員

専門：地質学、とくにカルスト水文地質学

主な著書：「洞窟の世界」(1982年、葦書房、翻訳) ほか多数

事務局：佐々木 公裕 (ささき きみひと)

環境省環境カウンセラー、自然公園指導員、2016年、環境省 功労賞を受賞

環境推進活動：北九州市環境サポーター1期生・福岡県環境マイスター ほか

☎090-7395-8805

✉touch706@jasmine.ocn.ne.jp

研究主体：東筑紫学園高等学校 理科部広谷湿原保全プロジェクト

第16回日本水大賞 文部科学大臣賞受賞 秋篠宮様 ご臨席(2014年)

全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 地学・生物 口頭・ポスター発表

(2001年、2011年、2014年、2016年、2017年) 5回出場 ほか多数

☎093-571-0488

✉hirotani.ramsar@gmail.com

このチラシの写真は、平尾台写真家：本田 茂さんのご支援によるものです。

